



九州大学小児歯科
教授 野中 和明
nonaka@dent.kyushu-u.ac.jp

日本小児歯科学会九州地方会会長就任挨拶

『親子に優しいお口と心のケアの小児歯科』

このたび橋本敏昭前会長より会務を引継ぎまして、平成20年度～平成21年度の日本小児歯科学会九州地方会会長に就任させていただきました。九州地方会の一層の発展のために、学会員の皆さまと共に努力していく所存です。ご批評・ご協力そして前向きなアドバイスをメールで常にお寄せ下さい。期待しています。

小児歯科医療のミッションは、胎児（妊婦さま）から新生児、乳幼児、学童、中学生と高校生（いわゆるティーン エイジャー）の体と心の健やかな成長と発達を、そのライフステージの特徴に臨機応変に対処しながら

支援していくことにあります。主たる支援者は家族であり、とりわけ母親と父親の子どもの成育における役割は、途轍もなく大きなことを小児医療に従事する誰もが痛感するところですね。ところでご両親の時代的変貌（大変身？）に戸惑っているのは、50代になった私だけでしょうか？ この6月に発表された新生児は約108万でした。私が生まれた50数年前（昭和20年代末：戦後世相も少し落ち着きを持った社会の到来の頃）は、約190万人でした。『団塊の世代』といわれる1947年（昭和22年）～1949年（昭和24年）の3年間（1次ベビーブーム世代）では、約800万人（266万人／年）でした。婚期は幅広いので大雑把な推測にすぎませんが、現在のヤングママとヤングパパは、彼ら『1次ベビーブーム世代』の2世が中心のようです。そして私を戸惑わせている母親像と父親像に大きな変身をもたらしたのがあるとするれば、それは何でしょうか？ ニホンジンの内なる変化あるいは日本社会や世界環境の変化？ この問いについての答えを探すことは、これからの『新しい日本の子ども達』を支援していくべき小児歯科医療の将来像を構築していく上で、大切なことです。

日本社会の基盤を支えてきた生活習慣、文化と伝統、食生活、出産と育児、学校と地域での教育、生きる技などの世代間での継承はスムーズに行なわれて来たのでしょうか？ もしそこに大きな世代間断裂あるいは不連続があるとすれば、どうやってそれを修復あるいは克服していけるのでしょうか？ ギブアップして放置してしまうのか？ 高齢者医療制度の社会的論議も、その一面のようです。これらは、途方もない大きな課題です。1次ベビーブーマーの大量定年退職は、『2007年問題』として社会的関心を引きました。それでも賢い企業は、定年退職者の時限付き再雇用により世代間の技術と頭脳の継承に懸命に努力しています。

ところで数年来の卒後研修医制度の導入は、医療現場の混乱と医療教育への負担をもたらしました。軟着陸のポイントがどのあたりにあるのか探し出す前に、また次のポイントへと移動している状況の中で、

制度自体の一部見直しが既に始まりました。『資源に乏しい日本のエネルギーの源は教育にあり。そして教育は100年の計にあり。』と教え込まれて信じていたはずが、5年前のゆとり教育は既に取り止めとなり、『理系教育の重点化、早期英語教育の試行、教科書記載内容の倍増化』など新しい教育方策が子どもの世界に取り入れられます。ちなみに私の子ども達は、『ゆとり教育の落とし子』です。学校での勉学の時間が極端に少ない世代です。親としては、社会の先輩達や後輩達と対等に生きていけるのか心配でなりません。だれもこの責任を取ってくれることはありません。今になって右往左往しても成す術もなく、せめて親としては自分の眼力を信じて、自分が祖父母や両親から引継いだ精神と生活の知恵を我が子に叩き込むことしかできません。当然に子ども達は迷惑この上ないことですから、自分の判断で適度に親の干渉を切り捨てながら、自分の感性で逞しく人生を生き延びていくことを祈るのみです。

『40にして迷わず』と孔子は曰っておられますが、50有余の私はこうして迷いの真中です。心に悩みや迷いをもつ親子をサポートしてくれる『親子に優しいお口と心のケア相談窓口』が、小児歯科医療の場にも導入されればいいなあと切望しています。出来高払い制度から包括医療制度への移行も必然の道程でしょう。その過程で、『小児歯科での心のケア相談』へのコスト支援体制も構築されなければなりません。『口腔ケアにより、乳歯は理想の保険装置であり続け、歯髄は理想の根充剤であり続け、天然歯は最高の補綴物であり続け、健やかなお口は健やかな人生を過ごす源泉であり続ける』ことを信念とした小児歯科臨床医として、これからも生きていきたいと念じています。

やがて道州制が導入されます。日本のリボルーションは、いつの時代も西国から始まりました。九州地方会の活動が地域住民の皆様にとどのように受け入れられていくのか、また住民の皆様は私達に何を求めているのか、相互での要望と意識の交換（ゲーム形式での公開市民セミナーや公開討論会）の機会を作り上げていくことが、第一歩となりそうです。また地域における『子ども支援』の年中行事に、『ムシ歯予防週間』と異なるイベントを小児歯科の先生が企画・実行していくことは、大きな価値があります。『忙しくて余分な時間と体力がない』と言われれば、皆その通りです。学会員の皆様は診療の上にも、日々に多種多様な業務を抱えています。それらに順番をつけて処理していくうちに、次の新しい業務が湧いてくるというエンドレスの繰り返しです。私自身は、『少欲知足』という心の関所を会得することが必要です。少し余裕の時間を創り出し、日々お世話になっている共同生活地域にその時間を還元しながら、子ども達と高齢者の生活空間の安全化と快適化に貢献することも楽しい仕事のひとつのようです。ボランティアは若者だけの特権ではありません。では学会員の皆様、今年は沖縄での九州地方会でお会いしましょう。どうか宜しく御願い申し上げます。

副会長就任挨拶



九州歯科大学口腔機能発達学分野
教授 牧 憲司

平成20年度より、日本小児歯科学会九州地方会副会長を拝命致しました、九州歯科大学の牧です。野中和明会長より副会長のご指名を賜り、その重責を強く感じております。

九州地方会との関わりを振り返りますと、私が入局して初めて学術学会での口演を行ったのが、北九州小倉での昭和63年の九州地方会大会でした。その後も研究発表の場だけでなく、多くの会員の先生方と親交を持たせていただき、臨床・研究・教育において多くの非常に良い影響を受けました。したがって九州地方会は、私にとりかけがえのない会であります。また平成14年より幹事として、本会に参加しております。またその間、本部学会での評議員、理事

を務めてまいりました経験を生かし、九州地方会の発展のために微力ながら野中会長を、最大限サポートできるように務めたいと考えております。

九州地方会は、発足後26年の歴史を持ち、現在では会員数530名の会員で構成され、研究会も13団体あり、その内容も会員の先生方のご努力により年々、充実してきております。一方本部学会は、有限責任中間法人となり、専門医制度の本格実施を始め、さまざまな改革が行われております。また本年4月の保険改定の実施によるラバーダム算定そのものの廃止（初診料・再診料に包含される）などによる実質的点数削減による小児歯科専門での歯科医院経営の困難性、大学においてもCBT、OSCEの共用試験の実施をはじめ教育カリキュラムの大幅な改革、独立行政法人化による大学人としての資質もより高度なマルチさが求められるようになっております。このような流れは、地方会へ大きな影響をもたらすものと考えられます。

このような時に、新執行部がいかに活動し、より良い方向へ九州地方会を導くことができるか、皆様方とご相談しながら考えていきたいと思っております。皆様の意見を集約し、可能な限り反映させることが我々役員の責務と思っております。

最後になりましたが会員の皆様には、今後ともご協力何卒よろしく申し上げます。

第25回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会開催報告

第25回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会は平成19年11月25日(日)に長崎大学医歯薬学総合研究科小児歯科学分野の担当で、『小児歯科における障害の受容』をテーマとして開催されました。

本大会は、11月24日、25日に長崎県歯科医師会の主催で行われた第24回日本障害者歯科学会の学術大会と同時開催され、九州地方会以外の地方会会員の参加も多く、総勢300名以上の参加を数えました。さらに懇親会は障害者歯科学会と合同で行い、土屋理事長にも参加していただきました。

大会では21題の一般演題のポスター発表が行われました。特別講演として、東京都立東大和療育センター歯科衛生士の水上美樹先生による「障害児の摂食・嚥下指導 ―おいしく、安全に食事をしてもらうために歯科衛生士は何ができるか―」、北九州市立総合療育センター歯科部長の武田康男先生による「障害をもった子どもの家族への受容支援」、前長崎大学病院小児科准教授（遺伝カウンセリング室）の近藤達郎先生による「遺伝カウンセリングとそれを通じた障害の受容支援」の3題を御講演いただきました。いずれの内容も障害者歯科学会と歩調を合わせて企画したもので、障害者の歯科医療の一翼を担う我々小児歯科医にとって、非常に興味深いものでありました。

さらに教育講演として長崎臨床医会会長の有田信一先生による「地域子ども達と小児歯科専門医」が行われました。小児歯科医と地域との関わりは深く、その実践とすばらしい成果についてお話しいただき、専門医としての一つの指標を提示していただきました。

すべての講演を通じて、これまで以上に、小児歯科は多くの他領域の専門家や地域との連携を持つことが必要で、子ども達の支援の中心に小児歯科医がなっていかなければならないことを痛感いたしました。最後に大会開催にあたって、御協力いただいた関係者の皆さまに改めて感謝申し上げます。

(大会会長 長崎大学医歯薬学総合研究科小児歯科学分野 藤原 卓 記)



第25回日本小児歯科学会九州地方会総会議事録

日時：平成19年11月25日(日) AM8:50～

場所：長崎県歯科医師会館 5階講堂

1. 開会の辞 野中副会長
2. 会長挨拶 橋本会長
3. 第25回日本小児歯科学会九州地方会大会長挨拶 藤原大会長
4. 物故会員黙祷
本年度に逝去された寺坂修二先生に対し黙祷がささげられた。
5. 議長選出
長崎県開業の角町先生が選出された。

議 事

- 1) 役員交代の件
橋本会長から、鹿児島大学代表幹事の吉原俊博講師の北海道大学転勤にともなう齊藤一誠講師への交代および、九州大学代表幹事の福本 敏准教授が東北大学の教授に就任され空席となっていることについて報告があり承認された。
 - 2) 第24回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会会計決算報告
齊藤一誠幹事より報告がなされた。
 - 3) 平成18年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算報告
西田郁子幹事より報告がなされた。
 - 4) 第24回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会決算および平成18年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算監査報告
有田監事より会計監査報告がなされ、一括して承認された。
 - 5) 第27回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会開催地について
橋本会長から九州歯科大学の牧教授の元で、北九州市にて行われる旨報告があり承認された。
 - 6) 次期会長について
橋本会長から役員会において現在副会長である九州大学の野中和明教授が推挙された旨、報告があり承認された。
6. その他
- ・第26回日本小児歯科学会九州地方会大会長挨拶 本川大会長
 - ・次期会長挨拶 野中和明次期会長
7. 閉会の辞 久芳副会長

平成19年度 専門医・認定医合同セミナー(福岡市)開催報告

世話役：野中和明 教授

有限責任中間法人日本小児歯科学会の専門医認定委員会と生涯研修委員会からの依頼により、平成19年度認定医・専門医セミナー開催を福岡市でお手伝いしましたので報告します。平成19年12月9日(日曜日)のアドバンスコースには約200名余りの学会員の参加をいただきました。皆様には、ご多忙な中でのご参加をいただきましてありがとうございました。この専門医セミナーには、ベーシックコースとアドバンスコースの2コースがあります。ベーシックコースは専門医を目指される方向け、アドバンスコースは既に専門医を取得されている方向けの内容となっております。各コース年2回開催され、毎回の内容も異なります。また専門医・認定医合同セミナーは、既に専門医と認定医を取得されている方向けの内容となっており、その出席は年1回のみと制限されています。これらの詳細は、小児歯科学会ホームページでご確認いただければと存じます。

12月9日(日)の小児歯科学会専門医セミナー(アドバンスコース)会場は、九州大学歯学部基礎研究棟1階 講義室A・Bでした。以下に、そのプログラムを紹介いたします。

12:00 受付開始

12:45 開演・挨拶

専門医認定委員会委員長 朝田芳信教授(ご出席)

生涯研修委員会委員長 渡部 茂教授(公務にてご欠席)

専門医セミナーの講演題目と講師は、下記のとおりでした。

講演1 13:00-14:30

小児歯科臨床での遺伝学

コーディネーター 野中和明教授(九州大学)

福本 敏 『歯の形成異常の遺伝的背景と臨床的対応』

東北大学大学院歯学研究科口腔保健発育学講座小児発達歯科学分野(教授)

山口 登 『小児歯肉炎・歯周炎の遺伝的背景と臨床的対応』

九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進講座小児口腔医学分野(助教)

講演2 14:45-16:15

小児歯科臨床における小手術

コーディネーター 藤原 卓教授(長崎大学)

喜久田利弘 『小児歯科臨床における小手術』

福岡大学医学部歯科口腔外科学講座教授

大野秀夫 『レーザーを用いた小手術』

おおの小児矯正歯科

第26回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会のお知らせ

大会長 本川 渉
準備委員長 竹島 勇

福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野が沖縄県歯科医師会の後援を得て、第26回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会を開催する運びとなりました。下記の要領で執り行いますので、多数の会員の皆様にご参加いただきたくここにご案内申し上げます。

大会日時：平成20年11月23日(日) 午前8:30～午後4:30

会場：沖縄コンベンションセンター

沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1 <http://www.oki-conven.jp/en/>

総会：平成20年11月23日(日) 午前8:30～9:00

懇親昼食会：平成20年11月23日(日) 午後12:00～1:30

沖縄コンベンションセンター内レストランにて

大会内容：

特別講演「歯科再生医療の最先端」

東北大学大学院歯学研究科口腔保健発育学講座 小児発達歯科学 教授 福本 敏 先生

国際シンポジウム「日韓の小児歯科事情」

1. 日本の小児歯科事情 岡本小児歯科医院 院長 岡本 誠先生

2. 韓国の小児歯科事情 Jenju city in Korea Dr.Kwon Byung Woo

シンポジウム「より高度な小児歯科医療を目指して」

1. 乳歯の歯内療法 河田小児歯科医院 院長 河田安史先生

2. 咬合誘導 聖マリア病院 矯正歯科部長 森下 格先生

歯科衛生士シンポジウム「デンタルIQの向上を目指して」

1. 一般的な指導法 小児歯科柏木医院衛生士

2. カリエスリスクテストを中心とした指導法 おく小児矯正歯科医院衛生士

3. 障害児への対応を中心とした指導法 おがた小児歯科医院衛生士

大会事務局：〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1

福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野内

第26回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備委員会

TEL：092-801-0411(内線656) FAX：092-801-4909(代表)

E-mail：kenyana@college.fdcnet.ac.jp

平成20年度 日本小児歯科学会一般公開講座のご案内

本公開講座は、平成20年度文部科学省科学研究費補助金の交付を受けて、日本小児歯科学会の研究成果を国民の皆様には解りやすく公開することを目的に開催されるものです。

今回は、美しい海と珊瑚礁に囲まれた沖縄県におきまして、第26回九州地方会大会の前日に、『口から育つところと身体 — 良くかむことは健康を育む —』をメインテーマとして、本学会の理事長や常任理事を担当されました先生方にお話ししていただく企画を立てました。

本講座が、ご参加の皆様方ならびに子ども達の口腔の健康増進にお役に立てれば幸いです。

『口から育つところと身体』 — 良くかむことは健康を育む —

日 時： 平成20年11月22日（土） 午後2時～3時50分

会 場： 沖縄コンベンションセンター（会議場 B 1）

沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1

講演1：『乳歯を大切に理由』

朝田 芳信 先生（日本小児歯科学会 理事長、鶴見大学歯学部小児歯科学講座 教授）

講演2：『子ども期の歯と口の健康と機能の大切さについて』

品川 光春 先生（日本小児歯科学会 副理事長、佐世保市開業）

講演3：『歯ならびについて』

嘉ノ海 龍三 先生（日本小児歯科学会 監事、姫路市開業）

主催： 有限責任中間法人 日本小児歯科学会

共催： 社団法人 沖縄県歯科医師会

協力： 福岡歯科大学 成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野

鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野

*本公開講座は、日本小児歯科学会専門医の申請・更新時に必要な教育研修単位（5単位）に該当しています。学会会員カードをお持ち下さい。

*翌日の平成20年11月23日（日）は、同会場で第26回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会が開催されます。

お問い合わせ：鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野

TEL: 099-275-6262 FAX: 099-275-6268

文責 有限責任中間法人 日本小児歯科学会

副理事長（学術委員長） 山崎 要一

第27回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会

開催日時：平成21年11月22日（日）

開催地：北九州市小倉北区真鶴2丁目6-1
九州歯科大学講堂および本館

大会長：牧 憲司

準備委員長：西田郁子

平成19年度 有限責任中間法人 日本小児歯科学会九州地方会 会計報告

収 入	単位：円
前年度繰越金	1,772,932
日本小児歯科学会より入金	761,000
第25回日本小児歯科学会九州地方会余剰金	428,098
預金利息	3,510
<hr/>	
合計	2,965,540

支 出	
ニュースレター印刷費	75,000
第25回日本小児歯科学会九州地方会大会援助費	500,000
通信費	24,080
文具費	103,664
予備費（慶弔費）	15,750
会議費	40,478
雑費（振込手数料）	3,255
繰越金	2,203,313
<hr/>	
合計	2,965,540

上記の決算に間違いのないことを証明します。

会計監査 有 田 信 一

会計監査 尾 崎 正 雄

第25回 日本小児歯科学会九州地方会大会 会計報告

(会計期間:平成 19 年 5 月 1 日～平成 20 年 4 月 30 日)

(2008.4.30)

収 入

学会本部補助金(地方会)	¥500,000
預金利息	¥609
学会運営補助金(長崎県歯科医師会)	¥50,000
学会参加費事前登録分	
歯科医師 ¥5,000 × 57 名 = ¥285,000	¥285,000
学会参加費当日分	
歯科医師 ¥5,000 × 244 名 = ¥1,220,000	
衛生士 ¥2,000 × 31 名 = ¥62,000	¥1,282,000
懇親会費	
事前申込 ¥6,000 × 30 名 = ¥180,000	
当日申込 ¥7,000 × 10 名 = ¥70,000	¥250,000
業者広告協賛費	¥720,000
抄録集代	¥1,000
合 計	¥3,088,609

支 出

プログラム・抄録集印刷費	¥477,190
印紙代	¥1,800
会議費	¥160,584
交通費	¥175,400
懇親会費諸費	¥380,000
雑費	¥4,879
事務用品費	¥201,545
講師謝礼・旅費など	¥248,750
人件費	¥210,000
大会運営費	¥135,023
会場設営費	¥559,345
通信費	¥105,995
余剰金(学会へ返金, 振込手数料込み)	¥428,098
合 計	¥3,088,609

繰 越 金

¥0

上記の通りご報告申し上げます。

第 25 回日本小児歯科学会九州地方会大会

大会長 藤原 卓

会 計 釜崎陽子

会計監査の結果、適正に処理されていた事を認めます。

平成 20 年 6 月 17 日

監事 有田信一 印

監事 尾崎正雄 印

平成19年度 第2回日本小児歯科学会九州地方会役員会 議事録

日時：平成19年11月24日(土) 16:00より

場所：長崎県歯科衛生士専門学校 第1講義室

出席者：橋本敏昭、野中和明、久芳陽一、藤原 卓、本川 渉、山崎要一、西田郁子、西岡孝浩、
細矢由美子、馬場篤子、空田安博、松田容士子、梅津哲夫、田口知義、木船敏郎、井上浩一郎、
豊島正三郎、竹島 勇、有田信一、尾崎正雄、品川光春、奥 猛志、逢坂亘彦

欠席者：牧 憲司、福本 敏

オブザーバー：佐々木康成

1. 開会の辞

野中副会長が開会の辞を行った。

2. 会長挨拶

会長挨拶を橋本会長が行い、平成19年11月1日に九州大学の福本敏准教授が東北大学歯学部教授として赴任されたこと、後任に関しては未決定であり現在空席状態であることなどが報告された。

3. 物故会員黙祷

平成19年10月に本学会員である寺坂修二先生が逝去されたため、黙祷をささげた。

4. 報告事項

1) 第25回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について

藤原大会長より概略説明、佐々木準備委員長から詳細な予定の報告がなされた。

2) 第26回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について

本川大会長から平成20年11月23日沖縄コンベンションセンターにて行われる旨、報告がなされた。

3) その他

特になし

5. 議長選出

野中副会長が選出された。

6. 審議事項

1) 次期九州地方会会長について

野中和明副会長が次期会長として推挙され承認された。

2) 次期県代表幹事について

12月10日が推薦の締め切りであり、現在事務局にて集計を行っている旨橋本会長から説明があり、次期野中会長へ結果を渡すことで承認された。

3) 九州地方会会則の変更について

地方会会長以外の役員の推薦や承認の時期の改正などについて協議を行ったが、継続審議となった。

4) 第25回日本小児歯科学会九州地方会総会式次第について

一部変更の上、承認された。

5) 第26回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会について

本川大会長より報告があり、承認された。

6) 第27回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会について

西田準備委員長より九州歯科大学の牧教授が大会長となり、平成21年11月23日(月)に行う予定であるとの報告があったが、連休中という特殊な日のため、日程の再検討を行うこととなった。

7. その他

地方会連絡協議会に提出された「全国大会と地方大会の共催に関する意見書」について西岡幹事から報告があり、奥特別幹事から補足説明がなされた。

また品川特別幹事より医療委員会の報告があった。

8. 閉会の辞

久芳副会長が閉会の辞を行った。

平成20年度 日本小児歯科学会九州地方会事業計画

1. 会員関係

(1) 会員の入退会

会員の入会、退会につき親学会と連携、協力を行う。

小児歯科を標榜の開業医の入会勧誘に努める。

2. 機構整備

(1) 機構整備に関する検討

① 会の機構、組織および運営に関する検討

本会の機構、組織の改善により運営の効率化を図るための検討を行う。

② 諸規則の検討

諸規則、諸規定の検討、策定し整備を図る。

3. 学術関係

(1) 日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の開催

九州地区会員およびスタッフを対象として、小児歯科医学の研鑽と啓発のための学会を開催する。

4. 専門医・認定医制度関係

(1) 親学会と連携しセミナーの開催など健全なる運営、管理ができるよう協力する。

5. 広報関係

(1) ニュースレターの発行

本会会務運営の会員への伝達、周知に努める。

(2) ホームページの更新

親学会が運営するホームページの更新に協力する。

6. 各地方会との協議および連携

(1) 地方会連絡協議会への出席

各地方会間の連絡、地方会の問題などを協議し連携を図る。

7. その他

講座紹介

福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野

九州地方会会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のことと存じます。今回は貴重な一頁をいただきまして本分野の紹介をさせていただきます。

福岡歯科大学は、福岡市西部に位置し、豊かな自然と都心の便利さを併せ持つ最適な環境の中にあり、同一キャンパス内に福岡歯科大学、福岡歯科大学医科歯科総合病院、福岡医療短期大学および介護老人保健施設を擁しております。中でも福岡歯科大学医科歯科総合病院は本年1月に、財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価Ver.5.0」を受審し、機構の定める認定基準に達していると評価され、平成20年5月に認定されました。

さて、本分野は吉田 穰名誉教授の元で1973年4月に開学し、現在の医局員は本川 渉教授を筆頭に、尾崎准教授、馬場・柳田講師、比嘉・葉山助教、柏村・杉本・野村・山口・阿部・三浦・久保田・村津医員、酒井大学院生、上島・緑川専攻生の17名で構成しております。平成16年には、第42回日本小児歯科学会大会および総会を担当し、福岡国際会議場にて開催いたしました。現在、医局員一同、教育・臨床・研究に、日々頑張っております。また、毎月1回開業医の先生方との合同勉強会の開催や、病院主催の出前講座などを通して、地域との交流も深めております。

また、本年11月23日に、沖縄県歯科医師会の後援を得まして、沖縄コンベンションセンターにおいて第26回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会を開催する運びとなりました。17年ぶり、沖縄での開催ということで、沖縄県での小児歯科医療の充実と小児歯科専門医育成の一助となれば幸いです。また、韓国小児歯科学会の先生方の特別講演ならびに一般発表も行う予定です。皆様多数のご参加を医局員一同、心よりお待ちしております。

今後も、開業医の先生方、地域の患者様に満足されるよう、医局員一同さらに邁進いたしますので、宜しく願い申し上げます。

(文責・馬場篤子)



【特集】 新任県代表幹事が抱負を語る



福岡県代表幹事
國武 哲治

平成20年度より、日本小児歯科学会九州地方会福岡県代表幹事を務めさせていただいております。

平成17年度より現在まで、福岡小児歯科集談会の会長を務めております関係で、このたびこのような大役を仰せつかったのだと思います。

私を知らない方も多数いらっしゃると思いますので、略歴を記します。

九州大学歯学部卒業後、同校小児歯科学教室入局、聖マリア病院、小児歯科柏木医院勤務を経て、平成9年福岡市早良区にて「くにたけ小児歯科医院」を開院しました。

私の所属する福岡小児歯科集談会は60数名の会員ですが、その大半が小児歯科学会会員であり10数名の小児歯科認定医、専門医が属しています。

小児歯科学会との関連も強く、本年度から集談会が主催する講演会は認定医、専門医の履修単位として認められることとなりました。

私自身は、まったく初めての経験でどのような仕事をすればいいのかさえよくわかっていない状況なのですが、開業している小児歯科医の代表として、皆様の意見を代弁していきたいと思っております。

どうぞ、よろしく申し上げます。



佐賀県代表幹事
一瀬 暢宏

はじめまして。この度、前任の梅津先生の後任として佐賀県代表幹事になりました一瀬と申します。「特集:新任県代表幹事が抱負を語る」といった大それた演題をいただきましたが、期待に添う文章となるか心配であります。まずは簡単な略歴ですが、長崎県出身で長崎大学歯学部の7期卒業、同大学小児歯科学講座に5年間お世話になり、どういった訳か佐賀市の開業医に勤務医として3年勤めた後、佐賀市の東のはずれに開業して8年になります。小児歯科専門で開業しておりませんし、また土地柄のせいか小児の患者は少なく、むしろ老人の割合が高く、日々歯周病治療、義歯調整に明け暮れるといった少し(かなり?)小児歯科の内容からは離れた診療体系となっています。

話は変わりますが、佐賀県では「佐賀県歯科保健計画(ヘルシースマイル佐賀21)」なる歯科健康保健計画を立てて、疾患の指標を節目ごとに設定、10年間で「むし歯半減」、「歯周疾患3割減」を目標としています。これに対応すべく佐賀県歯科医師会には地域保険部(成人産業委員会、学校歯科保健委員会)といった部署があり、このなかで私は成人産業委員会の委員長として、事業所健診、成人対象の歯周病健診の普及といった、これまた小児歯科とはかけ離れた事業に従事しております。一方ご存じの通り、佐賀県の3歳半のう蝕歯数10年連続ワースト1という不名誉な記録を樹立、これでは「がばいいかん」と言うことになり、佐賀県、佐賀県歯科医師会が協力し、歯科啓発活動と合わせ、幼稚園、保育所とともに小学校でのフッ化物洗口普及に努力してきました。その甲斐もあり、う蝕歯数最下位からの脱出、また県下小学校の約8割でのフッ化物洗口が実施されるほどになり、これからの学校歯科には期待がもてるようになっていきます。

同じ部会と言うこともあり、学校歯科の事業にも協力してきて、また自分自身、ここ数年小児歯科学からは距離を置いた立場にあったことから感じたことには、あまり、歯科医師会と専門学会との接点がないということがあります。社会保障費抑制が避けて通れないなかで、小児歯科学会の学術団体としての存在意義はこれから重要となってくると考えられ、お互いの交流に協力できれば幸いです。

最後に抱負ですが、「皆さんの足を引っ張らない」。よろしく申し上げます。

九州地区 5 大学講座一覧

大学講座名	主任教授名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX
福岡歯科大学成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野	本川 渉	814-0193	福岡市早良区田村 2-15-1	092-801-0411	092-801-4909
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻展開医療科学講座 小児歯科学分野	藤原 卓	852-8588	長崎市坂本 1-7-1	095-819-7674	095-819-7676
九州大学大学院歯学研究院口腔保健 推進学講座小児口腔医学分野	野中 和明	812-8582	福岡市東区馬出 3-1-1	092-642-6400	092-642-6468
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 健康科学専攻発生発達成育学講座 小児歯科学分野	山崎 要一	890-8544	鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1	099-275-6262	099-275-6268
九州歯科大学健康促進科学機能 育成制御学講座 口腔機能発達学分野	牧 憲司	803-8580	北九州市小倉北区真鶴 2-6-1	093-582-1131	093-583-5383

スタディグループ一覧

スタディグループ名称	会長名	郵便番号	連絡先住所	電話番号	FAX	E-mail address
長崎小児歯科臨床医学会	有田 信一	852-8016	長崎市宝栄町 14-8	095-862-8131	095-862-3725	sarita@mocha.ocn.ne.jp
熊本小児歯科懇話会	逢坂 亘彦	862-0950	熊本市水前寺 1-17-32 石本ビル 2F たんぼぼ小児歯科内	096-384-0020	096-384-0020	
佐賀小児歯科研究会	森永 太	849-0935	佐賀県佐賀市八戸溝 3-8-2 うめず歯科・小児歯科医院 梅津 哲夫	0959-30-2555	0959-30-5566	tetuo.ume@nifty.com
鹿児島小児歯科臨床研究会	濱崎 栄七	892-0828	鹿児島市金生町 1-10	099-222-6834	099-222-6834	
鹿児島ピド・グループ	坪水 良平	892-0014	鹿児島市草牟田 1-15-24	099-224-6773	099-224-6773	
北九州市小児口腔保健学会	木村 光孝	803-0835	北九州市小倉北区井堀 1-23-28	093-581-0198	093-581-0198	
福岡小児歯科集談会	國武 哲治	814-0161	福岡市早良区飯倉 3-36-3 くにたけ小児歯科	092-845-4887	092-845-4887	kunitakedc@ybb.ne.jp
NPO 法人 「ウェルビーイング」	西本美恵子	810-0041	福岡市中央区大名 1-15-24 Well-Being BLDG 2F	092-771-5712	092-741-8037	jimukyoku@well-being.or.jp
月曜会	砥上 照美		福岡市南区花畑 3 丁目 17-12	092-565-1216	092-565-1216	
宮崎小児歯科臨床懇話会	旭爪 伸二	880-0872	宮崎市永楽町 207-1 わかば小児歯科医院内	0985-27-2003	0985-25-1047	wakaba@miyazaki-catv.ne.jp
宮崎障害者歯科懇談会	安部 喜郎	887-0012	宮崎県日南市園田 1 丁目 1-16 安部歯科医院	0987-23-6878	0987-23-8950	boroishi@ybb.ne.jp
沖縄小児歯科研究会	比嘉 良喬	903-0806	那覇市首里汀良町 3-63-3 ハイビスカス MB 1 号室 くぼがわ歯科医院	098-887-6480	098-887-6480	milkyway.6480@utopia.ocn.ne.jp

平成20～21年度日本小児歯科学会九州地方会役員

会 長	野中 和明 (九州大学)	豊島正三郎 (鹿児島県)
副 会 長	牧 憲司 (九州歯科大学)	竹島 勇 (沖縄県)
	久芳 陽一 (福岡県)	西田 郁子 (九州歯科大学)
常任幹事	本川 涉 (福岡歯科大学)	尾崎 正雄 (福岡歯科大学)
	藤原 卓 (長崎大学)	星野 倫範 (長崎大学)
	山崎 要一 (鹿児島大学)	齊藤 一誠 (鹿児島大学)
	牧 憲司 (九州歯科大学)	山口 登 (九州大学・会計担当)
	野中 和明 (九州大学)	中村 由紀 (九州大学・庶務担当)
幹 事	空田 安博 (福岡県・広報担当)	特別幹事 橋本 敏昭 (九州地方会推薦理事)
	國武 哲治 (福岡県)	梅津 哲夫 (九州地方会推薦理事)
	一瀬 暢宏 (佐賀県)	品川 光春 (理事長推薦理事)
	田口 知義 (長崎県)	奥 猛志 (理事長推薦理事)
	逢坂 亘彦 (熊本県)	監 事 有田 信一 (長崎県)
	木船 敏郎 (大分県)	本川 涉 (福岡歯科大学)
	井上浩一郎 (宮崎県)	

■編集後記

4月から後期高齢者医療制度が始まり、この制度の内容に関して批判が集中しています。さらに、政府は社会保障費を毎年2,200億円削るという方針は変えていません。このような潮流の中で、歯科界をよい方向に導くことが出来るように、各会員の知恵を出さなければなりません。会員皆様の御意見を九州地方会事務局までお寄せ下さい。(広報担当幹事 空田安博)

平成20年度日本小児歯科学会九州地方会事務局
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学分野内
TEL：092-642-6400 FAX：092-642-6468